



会社概要

商号	真和建設株式会社 (英語表記:Shinwakensetu.inc)	
東京本社	〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-3-9 VERDAビル	
北関東支店	〒323-0807 栃木県小山市城東5-18-22 城東VERDAビル	
浦和営業所	〒330-0045 埼玉県さいたま市浦和区皇山町7-13 皇山VERDAビル	
市川営業所	〒272-0138 千葉県市川市南行徳2-20-3	
役員	代表取締役 明本 真吾 常務取締役 堀越 俊輔 取締役 五十畑 晃良 取締役 梶井 舞 取締役 平田 雄也(非常勤) 監査役 中屋 大(非常勤)	
事業内容	[薦 工 事 部] 鉄骨建方一式・足場組立解体・クレーン等組立解体・仮設資材リース・鉄塔工事・各種高工事計画等一式 [土 工 事 部] 機械土工事・残土処分・コンクリート工事・土工事計画等一式 [解体事業部] 解体処分工事一式 [建 築 部] 各種建築工事一式 [土 木 部] 各種土木工事一式	
創業	平成12年4月1日	
設立	平成14年7月10日	
資本金	4,000万円	
許可	【建設業許可】 国土交通大臣 許可(般-30) 第22929号 [建設業の種類] とび・土工事業 / 建築事業 国土交通大臣 許可(特-30) 第22929号 [建設業の種類] 土木事業 / 石工事業 / 鋼構造物工事 / ほ装工事 / 水道施設工事	主要取引先 IHI運搬機械株式会社 青木あすなる建設株式会社 株式会社イチケン 大河原建設株式会社 関都建設株式会社 栗本建設工業株式会社 佐藤工業株式会社 清水建設株式会社 株式会社セレコーポレーション 大成建設株式会社 大日本土木株式会社 大和リース株式会社 田中土建工業株式会社 TSUCHIYA株式会社 東レ建設株式会社 日鉄住金パイプライン&エンジニアリング株式会社 平山建設株式会社 前田建設工業株式会社 松井建設株式会社 冬木工業株式会社 ライト工業株式会社 等(五十音順)
有資格者	一級土木施工管理技士2名 一級建築施工管理技士1名 二級土木施工管理技士5名 二級建築士1名 二級建築施工管理技士4名 一級とび技能士22名 登録高・土工基幹技能士18名	
顧問弁護士	サン総合法律事務所 中村 信雄	
顧問税理士	小松則男税理士事務所 小松 則男 株式会社Steps Partners	
顧問社労士	テクノート佐藤事務所	
加盟団体	東京商工会議所 (一社)日本建設躯体工事業団体連合会 東京建設躯体工業協同組合 麹町法人会 飯田橋町会	
	取引銀行 みずほ銀行(亀戸支店) 東京都民銀行(神田支店) 東日本銀行(飯田橋支店) 三井住友銀行(小山支店) 足利銀行(小山東支店) りそな銀行(東京中央支店)	

経営理念

真和建設の従業員、連業者は常に「安全第一」を最優先とし、関わる全ての人達と共に健康で有意義な人生を全うする。

真和建設の従業員、連業者は技術者としての誇りを持ち、常に革新的な技術を磨き、伝承し続ける事により日本社会に貢献する。



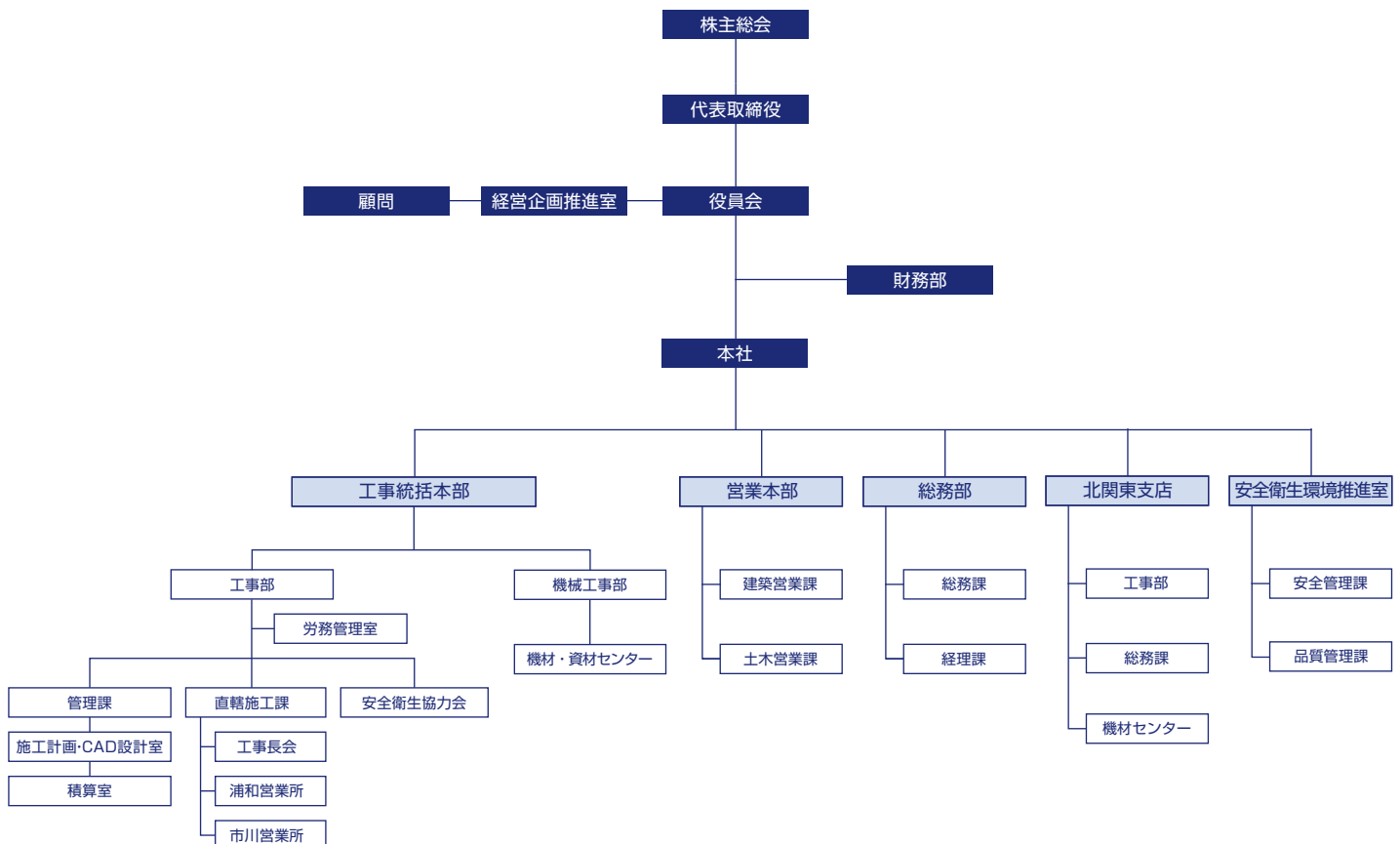
代表挨拶



弊社では、建設業界最大のスローガンである「安全第一」の精神を全社員一丸となって共有し、着実に実行してまいりました。安全で安心出来る建設現場を構築する事が、地域社会への貢献となり、弊社の健全経営の源であると考えております。「安全第一」を現場で確実に実行する為に、作業計画の段階より、専門躯体業者としての知識を最大限に生かし、綿密な計画を練る事により、安全を最優先とした技術力を提供させて頂いております。常に新しい技術が求められる現代社会におかれまして、これまで以上にお客様に満足をして頂けますよう、全社員一丸となって努力していく所存で御座います。今後とも皆様の一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役
明本 真吾

組織図





安全への取り組み

安全スローガン

安全作業を最優先とし、
仕事に係わる全ての人達の
命を全力で守る

弊社は創業以来死亡災害 0 を継続しております。

【墜落】【飛来落下】【機械関連】

この三点は即死亡事故に繋がる重要な案件ですが、正にとび・土工専門業者の工事に係わる範囲です。

『全ての人達の命を守る』

是を私達の仕事の請負範囲であると認識し、一人一人の作業員が安心して働き、事故・災害に巻き込まれることが無く毎日無事に家族のもとに帰れるように守ることを第一に取り組み、一次請負企業として様々な角度から安全へのアプローチを行い、全員が笑顔で従事できる作業環境を構築しております。

取引先企業様の安全基準 = 真和建設の安全基準



日々安全な作業をおこなう為には、取り組む作業全てにおいての作業手順を十分に理解し、潜む危険をいかに察知し未然に防ぐかと考えます。その為には過去の事故・災害事例を参考に類似した状況・条件下で絶対に作らない事を第一とし、更に専門業者としての独自の安全基準を設け、毎日安全巡視を実施しております。各取引先企業様の高水準な安全基準を、弊社従業員及び協力会社従業員に指導・教育を行うことで同水準の安全意識を持って日々取り組んでおります。

安全大会(毎年7月第一日曜)・安全総会(年末月)、年2回の安全教育の開催

弊社では、毎年7月の安全週間中に、取引先企業様の来賓と、弊社従業員並びに協力会社を含むすべての関係者にて安全大会を開催しております。安全大会では、取引先企業様から安全訓話を頂き、安全に対する教育を実施し、作業員の活躍、安全への取り組みに対する表彰式を行っております。また、2部の懇親会ではスペシャルゲストを招き、抽選会を催したりと、決して堅苦しいだけの大会にならず、安全の意識を身近なものと感じて頂ける様に努めております。

年末に開催する安全総会では代表による来年度の目標、1年間の安全成績を発表し、来年度の年間安全計画を周知します。また優秀な成績を収めました作業員には表彰を行い、安全に取り組んだ行動や考えを発表し、作業員全員の模範になる様に安全教育を実施しております。関係者全員が一堂に会し一丸となり「和」を築き改めて気持ちを引き締める年間を通し最大の会社行事としております。



安全衛生協議会(毎月15日)の開催



弊社独自の安全衛生協議会を毎月15日に、弊社社員及び協力業者を交えての会議を開催しております。

毎月の開催により取引先企業様のニーズや時事案件を即施工に反映し、安全面及び工法・コスト面での協議を、実施に施工する技術者たちの意見を聞きながら検討します。

また弊社の月間安全目標に応じた指導要項を発信し、各作業所の安全衛生協議会での通達内容や、安全パトロールの結果を公表します。作業員同士が他現場の進捗状況を把握し、安全の取り組みや過去の災害事例を基に、類似災害を絶対に起こさない様、安全教育を実施しております。

作業員の安全を守るために

全ての業界に於いて「事故災害ゼロ」は悲願です。

しかしながらあらゆる手段を以てを講じても無くならないのが現状です。そんな中、我々がすべきことは、そのあらゆる手段が本当になされているか、更にはそれ以上に考えられる対策は無いかを日々点検、検証をし続ける事です。その取り組みがいつか報われる事を願いながら、今後も根気よく取り組みを続けていきます。



これまでの安全実績



我々の歴史はまだまだ始まったばかりですが、これまでの取り組みによって、死亡災害は創業以来未だありません。また、毎年のように各作業所で、会社あるいは弊社の作業員が、安全への取り組みに関して様々な表彰を頂いております。

これもひとえに、作業員の皆様、協力会社の皆様の意識、そして何より取引先企業様の安全への取り組みのおかげであると感謝している次第であります。

今後も、大切な作業員が事故に見舞われる事のないよう、安全への取り組みを、更に強化していく所存であります。



とび工事

鉄骨建方

鉄骨建方とは、資材・部材の搬入から始まり、クレーンで柱を建て、梁をつないでいく作業です。施工は、下まわりと取り付けの2グループに分かれて行います。下まわりは、搬入された部材を、地上で吊るための段取りを行います。段取りの内容として、命綱となる安全帯を架ける設備や、落下養生のための水平ネットの仕込み、開口部につく梁には、手摺を取り付けます。取り付けは、地上から吊ってきた部材を、高所にておさめる作業を行います。柱、梁など重量物をクレーンで楊重し図面の通りに納める。その技術は直ぐに身に付く物ではありません。職人の中でもエキスパートな人間が集結し施工する。それが鉄骨建方です。常に危険と隣り合わせの工事ですが、墜落・落下災害防止を万全にしてからの施工が必要となります。念密な施工計画と搬入計画を事前に行い、その計画通りの施工を行わなければなりません。その為、元請けと関係業者が一致団結して上棟まで高い緊張感が現場中に溢れています。



足場工事

足場工事では、専門業者の中で一番最初に現場に乗り込み仮囲いを組立てます。基礎工事では、安全に作業出来る通路足場や昇降設備を組立てます。躯体工事では、ほぼ現場内の全員が使用する外部足場を組立てます。特にこの外部足場は現場の顔となり、多くの人達の目に入ります。外部足場のシートがたるんでいたりすると、現場全体が汚いと思われてしまいます。責任重大な工事です。そして外部足場を解体し、仮囲いを解体する。工事現場に最初から最後まで関係し、常に足場工事は先行して工事を進めて行く業種となります。その中で元請けの品質管理や専門業者の安全を守る足場工事は、常に安全最優先で慎重かつ丁寧な仕事求められます。



施工計画

施工計画とは工事を行うにあたって、各工種ごとの工事の進め方、方法を検討し、それら工種間の施工順序、工程、運搬、動線などを勘案した総合的施工方法について計画することです。工事は敷地の条件、設計仕様、建設場所などによって施工方法に大きな影響を受ける為、それらの条件に合わせてその都度計画を行います。

弊社では、専門業社として培ってきた技術・知識を基に、専属CADオペレーターによる作図をおこない、様々な角度から安全作業への配慮、工程短縮など社内検討を加え、出来ること、出来ないことを明確にした独自の施工計画書を提案させていただいております。



◆主な計画書◆

【葺工事】

- ・仮設足場組立計画、仮設足場解体計画
- ・鉄骨建方計画、鉄骨搬入計画、クレーン設置計画
- ・重量物揚重計画

【機械土工事】

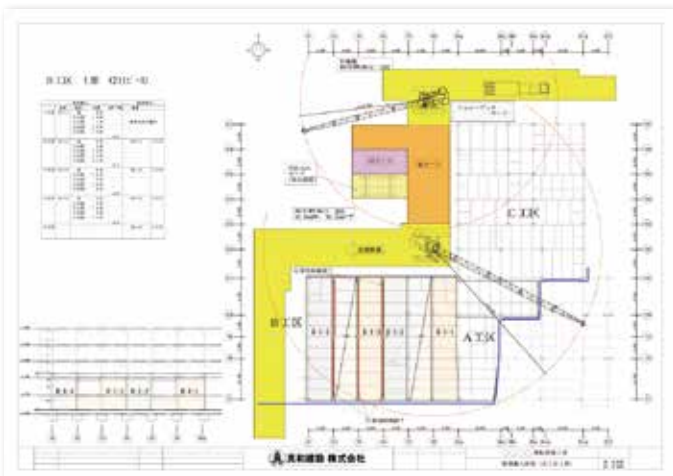
- ・根伐施工計画（山留計画、止水排水計画）
- ・残土運搬計画
- ・クレーン揚重計画

【コンクリート工事】

- ・コンクリート打設計画
（施工要領計画、品質向上計画）

【土木工事】

- ・山留計画
- ・重機使用計画
- ・道路使用計画
- ・産業廃棄物処理計画
- ・除染作業計画



建方計画図



ワンシート（鉄骨）



機械土工事

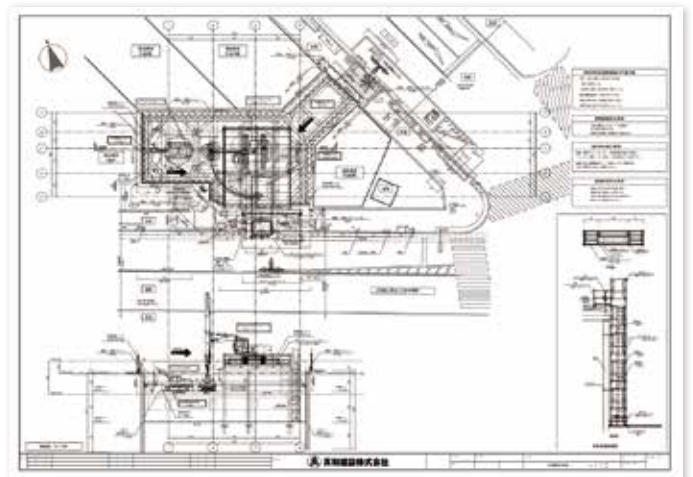
地下の構造体を造る為に地盤を掘削する工事を「根伐り工事」と呼びます。

超高層の建設工事では地下 30mを超える掘削をおこなう為、大小様々なバックホウでの掘削床付を行い、構台上からクラムシェルで残土排出、大型ダンプで場外へ残土を搬出します。その後は躯体工事業者に受け渡し基礎躯体工事の完成を待ち、埋戻し作業になります。埋戻し作業では埋戻土の転圧や砕石転圧などにロードローラーやタイヤローラーを使用し、準備工事や外構工事ではブルドーザーやモーターグレーダーにより不陸調整を行います。



機械土工事では、様々な大型重機を操り建物の地盤を形成します。工事着工前に現場の仮設状況や地盤調査・周囲の環境を考慮した重機の選定など、綿密な打合せを重ねた計画を基に、現場工程に添った施工を実施します。

弊社では大型重機保有し操作するオペレーターを育成指導をおこなっております。



根伐計画図

土工事

コンクリート工事

弊社でのコンクリート工事とは、躯体構造体をコンクリートにて構築する為に、内部振動機や型枠振動機を用いて打設する工事になります。

地下部では機械土工事によって掘削された空間に基礎を造ります。大規模現場では逆打ち工法での圧入コンクリートなど特殊な工法をおこないます。



電動式コンクリートバケットによるコンクリート打設



地上SRC造やRC造では建物の外郭や内部構造壁を、S造では床デッキ部の広範囲な打設やCFT（鉄骨柱充填）など、取引先企業様の計画・工法に基づいて施工をおこないます。

コンクリートは生コン工場から出荷されたコンクリートを、硬化するまでの定められた時間内に順序・手際よく充填し、不具合（ジャンカ・コールドジョイント）を発生させない密実な構造体を構築する、経験と技術を有する工事になります。





土木工事

土木工事とは一般的にライフライン工事や大規模な範囲の工事が多く、弊社でも多種大型重機を用いて施工を行っています。昔は人力による作業が多く、大変重労働な作業と認識されていましたが、今は土木・建設機械が発達し、「土」の仕事はその大半を機械で施工しています。

弊社での請負工事は主に道路下部の埋設工事が多く、工事には1台1台機能の異なる機械を組み合わせで行います。この機械の組合せのバランスが悪いと、施工能力を活かせません。この仕事は操縦技術も大切ですが、併せて常に施工能力を考えさせられる大変知的な仕事になります。

また、施工責任者は土木施工管理技士や基幹技能士等、現場施工に関する経験に基き、国家資格を有しての選任となりますので、他の職長との連絡・調整、機械の施工能力バランス・技能者の力量を見極め指導を行うことのできる優れた職長が活躍しています。土木・建設機械は、ただパワフルなだけのゴツイ乗り物ではありません。土を掘り取るショベルが付いていたり、土を押し均す為のブレードが付いていたり様々な仕様の物が有ります。このような装置類に複雑な動きをさせる為には繊細な操作技術が必要です。機械を操ることの多い土木工事は毎日が心躍る仕事です。



営業拠点



東京本社

〒102-0072
東京都千代田区飯田橋 3-3-9
千代田 VERDA ビル

TEL 03-3556-5061
FAX 03-3556-5065

東京メトロ東西線飯田橋駅
A5 出口より徒歩 1分



北関東支店

〒323-0807
栃木県小山市城東 5-18-22
城東 VERDA ビル

TEL 0285-20-0600
FAX 0285-20-0610

JR 小山駅より徒歩 15分



浦和営業所

〒330-0045
埼玉県さいたま市浦和区皇山町 7-13
皇山 VERDA ビル

TEL 048-815-7211
FAX 048-815-7212

JR 与野駅より徒歩 15分



市川営業所

〒272-0138
千葉県市川市南行徳 2-20-3

TEL 047-369-6535
FAX 047-300-2083

東京メトロ南行徳駅より徒歩 8分

保有機械





資材センター



現場の状況に応じて自社保有の各種ダンプにて、残土や骨材の搬入・搬出致しております。



10,000㎡以上ある敷地内には各種重機を配置して、残土受入・骨材搬出を迅速に対応しております。



各種仮設材のご用意もございますので、材/工での請負工事承ります。



土砂のたい積許可証

浦和センター

〒336-0963 埼玉県さいたま市緑区大門 2182-1
TEL : 048-767-3690



小山センター

〒329-0203 栃木県小山市西黒田 618-3

